

7. 《名は体をあらわす「武蔵国」》

平安時代は、地名の漢字表記もほぼ定まります。そもそもムサシ国は、「无邪志国」などと表記されていたものが、「武蔵国」になりました。「武蔵」は「武士の倉庫」の意味で、多くの中小武士団が乱立したことを示唆しています。名は体を表しているのですね。

武蔵野台地と利根川・荒川の湿地帯は、大規模な開墾を阻み、地域を統率する有力武士を出現させなかったからだと考えます。この水土（風土）は、武蔵国に置かれた郡の名前から察することができます。

埼玉（さいたま）郡・湿地に突き出た陸地（埼＝崎）を示唆（「たま」は湿地の意味）

足立（あだち）郡・・・湿地帯でも足が立つ陸域の存在を示唆

豊島（としま）郡・・・たくさんの島の存在を示唆

多摩（た　ま）郡・・・麻がたくさん生えた台地を示唆

荏原（えばら）郡・・・エゴマが生えている原っぱの台地を示唆

参考までに、その他の郡の名前はというと、

橘樹（たちばな）郡・ヤマトタケルの妻のお墓に橘を植えたことに由来

都筑（つづき）郡・・・邑（むら：集落）が築造されたことを示唆

秩父（ちちぶ）郡・・・秩序が整った尊敬に値する所であることを示唆
などです。

写真は、武蔵国の郡の名前と位置

